

平成29年度バリアフリー基本構想策定支援セミナー

関東運輸局では、管内の市区町村等を対象とした基本構想策定の推進とスパイラルアップを図るため、「バリアフリー基本構想策定支援セミナー」を毎年開催しております。

本年度は、宇都宮大学地域デザイン科学部 大森教授より「移動制約者の外出活動とバリアフリー基本構想」と題する基調講演を頂きました。

その中で教授は「バリアフリー基本構想とは、すべての人々が、地域で「住む」「働く」「憩う」といった日常生活活動の一環として、多様な外出活動に安全・安心・快適に参加できるよう、十分なモビリティとアクセシビリティを提供するために行うバリアフリー環境整備を促進する手段の一つであり、多様な関係主体が一堂に会して情報交換・共有を行う絶好の機会である」とまとめておられました。

続いて、東京都都市整備局都市基盤部交通企画課 交通計画調整担当より「鉄道駅のバリアフリー化に関する東京都の取組みについて」の事例発表をいただきました。

【参加いただいた方々からの主な感想】

- 学術的視点と実際の行政の取組状況、支援スキームなどがわかりやすく説明していただいていた。ありがとうございました。
- 国と自治体及び事業者が十分な意見交換と理解し合って進める必要があると思います。



○日 時：平成30年1月26日（金） 14時00分～16時25分

○場 所：埼玉県トラック総合会館 6階大会議室

○参加者数：85名

〔自治体 33名、交通事業者等 35名、その他 17名〕

○次 第

1. 開 会

2. 基調講演

「移動制約者の外出活動とバリアフリー基本構想」

宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 教授 大森 宣暁

3. 事例発表：

「鉄道駅のバリアフリー化に関する東京都の取組みについて」

東京都都市整備局 都市基盤部交通企画課 交通計画調整担当

4. 情報提供：

「関東管内におけるバリアフリー基本構想の策定状況等について」

関東運輸局交通政策部消費者行政・情報課

「バリアフリー化の支援制度（社会資本整備総合交付金）」

関東地方整備局企画部広域計画課

5. 閉 会



宇都宮大学 大森教授



東京都 都市整備局